

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度(評価)  
 A:十分達成できている  
 B:おおむね達成できている  
 C:やや不十分である  
 D:不十分である

学校名	唐津市立成和小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員で重点目標、取り組み内容及び現状・課題等を共有して実践を図ったことで、PDCAサイクルにそった組織的な取り組みができたことは成果である。次年度の計画に当たっては、今年度の成果と課題を踏まえて、実効性のある具体的な取り組みや成果指標を設定する。</li> <li>コロナ禍にあり、様々な教育活動の実践に影響があった一年であった。次年度もまだまだコロナ禍の現状は継続することが予想されるので、それを踏まえてコロナ禍にも対応できる具体的取組や成果指標を設定し、教育活動の展開を図りたい。</li> <li>「学力の向上」に関しては、コロナ禍の現状を踏まえて、「主体的、対話的で深い学び」の視点に立った授業改善と指導方法の工夫に取り組んでいきたい。</li> <li>次年度も引き続き重点目標として「不登校を生まない学校づくり」に取り組んでいく。残念ながら不登校傾向の児童は増加の傾向にあり、早期発見・組織的な対応について一層の取り組み強化を図っていく。</li> <li>次年度は、新型コロナウイルス感染とクラスター発生を防ぐことを「健康・体づくり」の重点として取り組んでいく。感染防止対策の強化と定着を図り、感染防止を最優先事項として取り組んでいく。</li> </ul>
2 学校教育目標	「HEART」、「POWER」、「CHALLENGE」 一あたたく 力強く 目標にチャレンジする子どもの育成ー 【心をひとつに「チーム成和」】
3 本年度の重点目標	①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、指導方法の工夫・授業改善に取り組む。 ②不登校を生まない学校づくりに取り組む。 ③いじめ防止と早期発見・早期対応に向けた体制づくりに取り組む。

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価			主な担当者		
(1)共通評価項目				進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	最終評価			学校関係者評価	
評価項目	重点取組	取組内容	成果指標(数値目標)				実施結果	評価			意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	●課題解決に向け、複数意見からまとめるような全体での話し合いの場を仕組む。								
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	●道徳授業の充実と、自己肯定感を感じる児童を80%以上にする。	●担任間で、教材の選定や指導の流れ等、道徳授業の事前打ち合わせを行う。 ●各授業の指導過程に「交流(対話)」活動を取り入れる。								
	●いじめの早期発見・早期対応体制の充実	●早期発見・早期対応を行い、児童のいじめを0にする。	●毎月、心のアンケートをとり、実態把握を行う。 ●気になることは、担任、校長、教頭、生活指導担当、養護教諭などでチームを作り、学校として解決に当たる。								
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間て420分以上の児童60%以上	●外遊びの奨励と環境づくり(晴れの日は外遊び、毎月1日ノーマディエターの取組の確認をして意識付けをする) ●持久走大会・縄跳び大会に向け、昼休みに時間を確保し、取り組ませる。 ●体育委員会を中心に昼休みを使って、スポーツチャレンジの取組を行い、体力向上に努める。								
	●「望ましい生活習慣の形成」	●衛生検査の実施(各調査項目90%以上)	●給食前の手洗いチェックを保健委員会が行い、結果を放送することで手洗いの徹底を図る。 ●栄養や食生活の大切さを伝える放送を給食委員会が毎日行う。								
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	●定時退勤日を設定し、職員に積極的に周知することで、1週間に1日の定時退勤日を徹底する。 ●職員各自が、毎月の時間外勤務集計記録を確認しながら、時間外勤務の上限を(4.5時間)超えないように勤務時間の調整に取り組む。								
	●勤務時間の適正化	●会議や事務の効率化を図り、教職員が児童に向き合う時間を確保する。 ●定時退勤日の周知を徹底し、実施率を80%以上にする。	●会議時間の設定や事前の資料配布等を確実に実行。 ●週1回の定時退勤日の徹底と出退勤システムの活用により、ワークライフバランスを整える。								
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											
評価項目	重点取組	取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	学校関係者評価	意見や提言
◎志を高める教育	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する態度を育む。	◎学校教育目標「ハート」「パワー」「チャレンジ」の児童の認知の割合を95%以上にする。 ◎児童にアンケートを実施し、「自分の目標に向かって進んで取り組むことができた」と回答する児童を3.3/4.0ポイント以上にする。 ◎児童にアンケートを実施し、「掃除や給食当番、係活動を自分から進んで取り組んでいる」と回答する児童を3.3/4.0ポイント以上にする。	●様々な教育活動における指導場面で、「ハート」「パワー」「チャレンジ」と関連付けた支援・指導を行う。 ●児童に達成可能な目標を立てさせ、目標達成に向け活動できるよう指導や支援を行うようにする。 ●掃除や給食当番、係活動に責任をもち、友達と協力して活動させ、やり遂げたことを発表する場や認め合う活動を設定し、自己有用感や自己肯定感をもたせる。								
○開かれた学校づくり	○家庭や地域との連携	○学校だよりを月1回以上発行し、学校ホームページの更新を月1回以上行い、学校教育の情報を公開する。	●学校だよりの発行、学校ホームページの更新を月1回以上行い、学校教育の情報を多方面に発信する。								
○特別支援教育の推進	○特別支援教育の充実	○月に1回以上は特別支援委員会等を開催し、教員間で情報共有を行い、特別支援教育の充実に努める。	●子どもたちが安定した学校生活を送れるように、一人一人が主人公の学校づくりに努め、常に児童に寄り添った指導を心がける。								
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育											
5 総合評価・次年度への展望											